

2022年度 個人研究実績・成果報告書

2023年 4月 24日

所属	会計ファイナンス 研究科	職名	教授	氏名	石黒秀明
研究課題	最新税務訴訟事件判決の分析と判例理論の研究				
研究キーワード	租税法、判例研究、判例 理論、統計学	当年度計画に対す る達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの 成果が達成できた		
関連する SDGs項目	10. 人や国の不平等をな くそう	16. 平和と公正をすべて の人に	該当なし	該当なし	
1. 研究成果の概要					
<p>租税訴訟事件において、統計学の知見を援用して課税要件事実の評価を行うべき事件（「高松外れ馬券訴訟事件」）を引き続き研究対象とし、裁判所の判断について実証的・批判的な検証を行うためのデータの収集と分析を、また自身が鑑定意見書の執筆を通じて関与した同事件の最高裁上告受理申立が上告不受理になったことに関し、元最高裁裁判官の著書を通じてその不受理理由の分析を行った。（この研究成果は本年5月24日開催の日本税務会計学会・月次研究会で発表予定。）</p> <p>また、今後の研究素材とするため、相続税（特にいわゆる「タワマン節税訴訟」）・国際課税関連訴訟事件の判決文の集積も進めた。</p>					
2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）					
【論文（査読あり）】					
【著書・論文（査読なし）】					
最高裁上告事件始末記－高松外れ馬券訴訟－、石黒秀明、単著、HP、2022年8月 （会計ファイナンス研究科・ビデオライブラリーとしても配信）					
【学会発表等】					
3. 主な経費					
判例データベース使用料および書籍購入費用。					
4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）					
（本文は2ページ以内にまとめること）					